



2020 運動会

しゅんかん

かっこいい瞬間

はいっ!



リレーのバトンパスが決まった瞬間です。

このかっこいい瞬間までには、何回も何回もバトンパスの練習を繰り返したことでしょう。本番でバトンをとった子もいましたが、それでも最後までバトンをつなぎました。練習ではうまくいっても、本番で失敗してしまうことは、よくあることです。一生懸命に努力しても勝てないことはありますが、でも勝利を手にする人は必ず努力をしています。

うれしさも、くやしさも、流した涙も、多ければ多いほど、かっこいい瞬間が近づいていると思います。優勝したチームも残念ながら優勝できなかったチームも、全力でがんばったみんなは確実にその瞬間に近づいています。



まるでジャンプの連続写真のような、3人の息がぴったり合ったかっこいい瞬間です。

一人一人が全集中して、隣の子がジャンプするタイミングを考えていたことでしょう。普通のウェーブと違って、ジャンプしながらのウェーブなので息を合わせるのは、かなり難しいはずです。しかも誰かが手を抜いたら、こんなかっこいい演舞にはなりません。走ることやダンスが苦手で、運動会が不安だったり参加したくないと思ったりした子もいると思います。それでも、手の先から足の先まで全力で、しかも仲間と力を合わせて、こんなかっこいい瞬間を見せてくれたみんなに大きな拍手をおくります。



今年の夏、熱中症対策としてリュックサックの使用を紹介したところ、多くの子がリュックで登校しました。今は、ランドセルの子とリュックの子が半々ぐらいです。「いつまでリュックで登校していいの?」という質問を受けます。今後も両肩かけカバンであれば、季節にかかわらず、ランドセルとリュックサックのどちらで登校してもOKです。

手ぶくろをしよう



登校中にポケットに手を入れて歩く子をとときどき見ます。こけたとき大変危険です。手が冷たいこれからの季節、手袋をして安全に登下校しましょう。

赤い羽根の共同募金



ボランティア委員会が募金を呼びかけました。子どもや高れい者、障がい者などみんなが暮らしやすくなるために、みんなで助けあう赤い羽根の共同募金。でも、どうして赤い羽根なんでしょう?ちょっと調べてみました。アメリカの原住民族は、いろいろな色の羽根かざりを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。つまり「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボルということです。

今回、乙川小で勇気を出して良い行いをしてくれたみんなからの募金は8,630円でした。



おっかわいいね♡ 「がむしゃら行進曲」 を踊るカッコいい男の巻

